

## 朝市村で行う 栄養相談コーナー

社団法人愛知県栄養士会

### 【 概 要 】

栄養や食にかかわることなどを気軽に相談できる場所づくりを目的として、平成 16 年から名古屋市中区栄のオアシス 21 で開かれている「エコファーマーズ朝市村」で毎月第 2・第 4 土曜日の朝 9 時から 12 時までの間、「栄養相談コーナー」を設けています。はじめて相談コーナーを訪れた人には、体脂肪の測定からはじめ、最近話題のメタボリックシンドロームの話から健康に暮らすための食事のとり方の指導などを行っています。

相談者からは、「こうした場で定期的に体脂肪のチェックやアドバイスがもらえれば安心です。」といった声が聞かれ、この活動が定着してきた手応えが感じられます。

### 【成果や今後の取組等】

このコーナーにはリピーターも増え、1日に 30 名程度の方が相談に訪れ、県民の健康に対する関心の高さが感じられます。これからも、県民の方が気軽に立ち寄って、健康について気軽に相談できる場づくりに心がけていきます。



朝市村内栄養相談コーナー



栄養相談の様子

## 夏休み親子料理研究隊の開催

愛知県食生活改善推進員連絡協議会

### 【 概 要 】

会員が各地域で様々な食育活動を行っています。日進市の会員は、平成 19 年 8 月 22 日に市民会館調理室で「夏休み親子料理研究隊」を開催しました。市内在住の小学校 3 年生から 6 年生の児童とその保護者 20 名が参加し、子どもたちが色塗りをしながら「食事バランスガイド」を学んだり、食中毒の予防などについての説明を受けました。調理実習の後は、親子で食事を楽しみました。

### 【成果や今後の取組等】

保護者からは、「好き嫌いの多い子が残さず食べた。バランスよい食事について学ぶことができた。」、子どもからは、「皆で作って楽しかった。」という声が聞かれて好評でした。

本会では、この事例のほかに、分科会 “子どもへの食育を考える会” による年 3 回の『食育たんけん隊』を開催しています。今後も継続して、子どもたちへの食育活動支援を進めます。



1 日の食事をバランスガイドに色塗りする子どもたち



調理実習後に食事を楽しむ親子

## 県内統一テーマ“朝食をしっかりと食べよう！”に基づく食育実践

愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会

### 【概要】

平成19年度に“朝食をしっかりと食べよう！”を統一テーマとして設定し、県内各小中学校等で様々な食育活動を展開しました。

主なものは、次のとおりです。

- 小中学生の保護者を対象にした食育講演会
- 夏休みなどを利用した親子料理教室の実施
- 給食時間等における食に関する指導
- 「食育だより」の発行による家庭へ食育の啓発など



給食時の指導

### 【成果や今後の取組等】

平成18年9月と平成19年12月に行った小学生・中学生を対象とする調査の結果を比較すると、小学生・中学生ともに「朝食を毎朝食べる」という回答の割合が増えました。

また、朝食の内容も、「主食とみそ汁またはスープ」、「主食とおかずのそろったもの」という回答の割合が増加しており、朝食を食べる習慣や内容が改善していることがわかりました。

今後も学校給食を通じて食育の推進に努めていきます。

(平成18年と19年の調査結果については、ホームページを参考にしてください。)

<http://www.aichi-ek.com/food/pdf/18-19.pdf>

## 平成19年度学校給食教室を開催

財団法人愛知県学校給食会

### 【概要】

独立行政法人日本スポーツ振興センターとの共催により、健康教育としての学校給食とごはんを中心とした日本型食生活の重要性について、家庭との連携を図りながら学校給食へのより一層の理解を得ることを目的として、平成19年11月7日・8日・15日・16日の4日間にわたり、豊明市にある愛知県学校給食総合センターにおいて学校給食教室を開催しました。名古屋・尾張・三河の各地区から185名の保護者の参加があり、学校給食の意義と新たな役割についての講義、調理実習、栄養教諭による朝食についての講話や意見交換を行いました。



講義の様子

### 【成果や今後の取組等】

この取組は、特に家庭との連携に重点をおいて実施したものであり、学校と家庭との連携の面から食育の啓発に大きな成果をあげました。今後は、この成果を基に食育の推進と学校給食の充実・発展を図ります。



試食タイム

## 「保育所ですすめる食育～食育計画の作成と実践」の開催

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会 保育愛知部会

### 【 概 要 】

子どもたちの健やかな育ちを目指し、当面の課題について研究協議するため、県内公私保育所長 236 名が一堂に会し平成 19 年 12 月 6 日・7 日の 2 日間に亘って蒲郡市で「保育所長研究会」を開催し、保育事業の一層の進展を図りました。

シンポジウム「子育て文化を育む地域づくりのために」では、保育園長・子育て支援に関わる NPO 代表者が参加し、「いま保育所に求められる食育」などについて専門家から助言をいただきました。

また、食育計画の作成と実践を中心にした講義による分科会を通じて、「保育園での食育の大切さを痛感した」「各保育園において、それぞれの地域性や構成などを踏まえ、食育計画を全職員で立案・実践していきたい」といった意識啓発が図られました。

### 【成果や今後の取組等】

アンケート結果では、「保護者への具体的助言が参考になった」、「食育指導計画の参考にしたい」などの意見がありました。今後も各園での食育の取り組みの紹介や、参加者からの発言の機会を設けるなど、より実践的な研修を通じて保育園での一層の食育推進に取り組んでいきます。

## 家庭教育テレビ番組による食育の普及啓発

愛知県教育委員会

### 【 概 要 】

乳幼児期から小学校低学年までの家庭教育の課題に応えられるテレビ番組「あいちっ子」を放送しました。この番組は、東海テレビで 13 回にわたって放送しましたが、そのうちの 2 回で食育に関連する内容を取り上げました。

#### ◎食育関連の番組

放送日時	タイトル	内 容
19. 10. 9 (火) 午前10時55分～11時10分	いろいろ食べて元気いっぱい ～バランスのとれた食生活～	子どもが少食や偏食にならない対応の仕方などについて
19. 10. 30 (火) 午前10時55分～11時10分	早寝・早起き・朝ごはん ～生活のリズムとしつけ～	幼児期の生活のリズムと子どもの健やかな成長について

### 【成果や今後の取組等】

乳幼児期から小学校低学年の子どもを持つ親の子育ての不安や悩みを解消し、家庭の教育力の充実のための支援をすることができました。

今後ともきめ細やかな家庭教育支援の取組を推進していきます。



PRちらし

## 「学ぶ食フォーラム」の開催

愛知県教育委員会

### 【 概 要 】

平成 19 年度に県内 59 市町村に各 1 校の「子ども食育発信校」を委託し、その学校や文部科学省研究委託校 3 校の実践発表を行う「学ぶ食フォーラム」を平成 19 年 11 月 27 日名古屋国際会議場において開催しました。県内から約 1,300 名の参加があり、10 の分科会では、教職員の参加者から多くの質問が出され熱心な研究討議が行われました。

講演・シンポジウムでは、学校全体で取り組む食に関する効果的な授業内容や指導方法について研修しました。

### 【成果や今後の対応等】

食育発信校・協力校の取組を「実践事例集」にまとめ、この事例集を参考に食に関する指導の推進について総合的な学習の時間や関連する教科等の効果的な活用を図っていきます。



席数を上回る参加者



講演する東北福祉大学  
有田 和正 教授

## 食育の取組

社団法人愛知県医師会

### 【 概 要 】

生活習慣病は、以前は成人病と言われていましたが、最近では小児期においても注目されています。愛知県医師会は、長年健康教育を行ってききましたが、病気の源は“食”・治すのも“食”、医食同源の考えのもとに病気の話などを含む種々の面から講演会を開催しています。

県民向けの講演会では、家庭内における食事の **decision maker**（内容や質の決定者）である人への知識レベル、意識レベルの向上に努めています。その内容は、バランスの良い食事、代謝に悪影響を及ぼす食生活、生体内における栄養素の機能、予防としての食事、各種疾患に対する食事指導、高齢者への食事指導、小児期における生活習慣病などです。

また、産業保健活動の一環としても、同様の講演会を開催しており、勤労者の食育にも努めていますし、学校保健活動においてもその一翼を担っています。

一方、医師会の会員に向けては、サプリメントを含む健康食品の種類・分類、医薬品との相互作用について講演会や、平成 20 年 4 月から実施される特定健康診査・特定保健指導が円滑に進むよう、運動や食事などの健康指導について積極的に情報提供を行っています。

### 【成果や今後の取組等】

健全な食生活を実践することができる人間を育てることは、今後さらに重要性を増すことになり、医師会としても引き続き食育に取り組んでいきます。

## 「第2回8020健口フェスティバル」の開催

社団法人愛知県歯科医師会

### 【 概 要 】

お口の健康と食育を県民と共に考え、ふれて、見て、聞いて、体験して、楽しみながら歯への健康意識、食育の大切さを広めることを目的として、平成19年11月11日に愛知県歯科医師会館で「第2回8020健口フェスティバル」を開催しました。これは、中日新聞社、(社)愛知県栄養士会、(社)愛知県歯科技工士会、(社)愛知県歯科衛生士会と共催し、後援・協賛企業の協力も得て、表彰式典、講演会、ブース展示、体験コーナー、抽選会等を行い、約1,000名が参加しました。また、午後からは、「第1回8020あいちプロジェクト事業」も開催されました。

### 【成果や今後の取組等】

このフェスティバルは2回目ですが、たくさんの方が参加し、盛況のうちに大きな成果を収めることができました。

今後は、この成果を基にして、愛知県が始めた8020運動の推進とともにさらなる食育推進の普及、啓発を図ります。



表彰式典



口臭測定体験

## 食事体験型教室の開催

財団法人愛知県健康づくり振興事業団

### 【 概 要 】

ある企業の職員を対象として生活習慣の改善を支援するため、食事体験型教室（バイキング実習）を実施しました。

対 象	職場の健康診断等により、メタボリック症候群、またはその予備群と診断された人のうち、改善が必要であると企業の健康保険組合より選定された人
開催期間及び回数・人数	平成 19 年 10 月から 11 月の 2 か月間 計 6 回 延べ 108 名
教室の特 徴	33 種類の料理から参加者が自由に選択し、その選択状況、摂取状況から個別に食事アドバイスを行うもので、参加者それぞれにあった指導が可能である。



バイキング実習で使用する料理

### 【成果や今後の取組等】

この教室は、講義のみの食事指導に比べて、対象者が自分の食事の量についての理解が深まり、実践にむけてのポイントがつかみやすいと好評でした。過去の調査では、バイキング実習を取り入れた教室に参加した人の生活習慣の改善が確認できています。この教室は準備に時間がかかり、コストも高くなりますが、対象者の食生活改善に大変有用と考えています。今後も、生活習慣病の予防に効果的に支援できるよう、この教室を継続していく予定です。

## 食品表示の適正化の取組

愛 知 県

### 【 概 要 】

これまでも食品表示の適正化について、制度の普及啓発や表示状況の調査・指導などに努めてきました。しかし、全国的には平成 19 年 6 月の牛肉加工品の偽装表示を皮切りに食品表示にかかる問題が次々と明るみになり、県の「食品表示 110 番」へも平成 19 年 4 月から 12 月の 9 か月間で前年の約 2 倍にあたる 219 件の情報があり、県は立入検査員を増やして確認調査や指導にあたったほか、事業者に対する研修会も予定より回数を増やして開催しました。9 月には国の研究機関から名古屋コーチンと表示されながらそれ以外のものが流通しているという発表があり、県としても関係団体等と連携して緊急調査なども実施し、精力的に食品表示の適正化に努めました。



事業者を対象とした研修会

### 【成果や今後の取組等】

適正な食品表示が確保されるためには、まずは事業者が制度を理解し、実践していただくことが必要です。県は、これまでの取組とともに、平成 20 年度から新たに「食品の適正表示月間」を設定するなど食品表示の適正化に努めていきます。



店舗店頭での食品調査

## 賢く摂ろう！健康食品セミナーの開催

社団法人愛知県薬剤師会

### 【 概 要 】

愛知県女性薬剤師会との共催により健康食品の正しい知識の普及を目的として平成 19 年 6 月 14 日にウィルあいち 1 階セミナールームで「母と子の健康支援セミナー公開講座」を開催しました。この講座では、薬剤師会の会員が講師となって『賢く摂ろう！健康食品』という演題で講演を行いました。

当日は、約 100 名の参加があり、健康食品に関する正しい知識の習得に取り組んでいただきました。



講座のようす

### 【成果や今後の取組等】

参加者からは非常に有意義な講演だったと反響があり、当日受講された人からは地域の「保育所調理員等研修会」に出張講演の依頼もいただきました。

今後も様々な機会を利用して健康食品についての正しい知識の普及に努めていきます。